



# せいひ会だより

2013年(平成25年)  
8月1日発行  
<第160号>  
社会福祉法人せいひ会  
<http://www.seihikai.jp/>



年に一度登場する、せいひ会特製のそうめん流しセット。最近は電動で流れる「そうめん流し器」なるものもあるようですが、こちらは組み立てからそうめんを流すまで全てお手製!各事業所で行われたそうめん流しに、長い樋(とい)も行ったり来たり。今年も大いに活躍してくれました。

## 7月の行事

- 05日 七夕そうめん流し(通所・丘の家)
- 06日 七夕(寿限無・じゅげむ)
- 07日 七夕(GH・風和)
- 08日 陶芸教室(通所)
- 14日 収穫祭(GH)
- 15日 誕生会(元亀・通所)
- 23日 夜間想定消防訓練(丘の家)
- 27日 そうめん流し(風和)
- 27日 中山郷夏越し祭り



## 8月の行事予定

- 03日 納涼祭(風和)
- 04日 夕涼み会(GH)
- 10日~24日 写真・作品展(風和)
- 12日 陶芸教室(通所)
- 16日 運営推進会議(GH)
- 19日 誕生会(元亀・通所)
- 21日 運営推進会議(GH)



☆7月生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます☆



今回は元亀の里:坂口 エイ様にお話を伺いました。

大正14年、西彼町大串に4人兄弟の3番目で生まれる。両親は農業を営み、スイカ・玉ねぎ・米などを栽培していた。兄二人は兵隊に行っていたため、兄達に代わって農業を手伝っていた。「牛ば使って田畠を耕しよったけど、大人しい牛でした」とのこと。

学校を6年生で卒業後、西彼町大串の青年学校に3年間通った。青年学校では、勉強や裁縫・洋裁を習っていた。

19歳の頃(昭和19年)結婚し、すぐにご主人と一緒に満州へ渡った。満州での生活は良かったようだが、終戦後は生活が一変した。「ロシア兵が土足で上がりこんで来て怖かった」「道を歩いていると、銃を鼻先に突き付けてきたりと生きた心地がしなかった」そうだ。

また「ずっと苦労してきた」「終戦後は好きなこともできんやった」とのこと。貯金も下ろせず、着の身着のままに日本へ戻ってこられた。しかし、「夫は技術を持っていたのでソ連に連れて行かれました」と当時の様子を語られていた。

満州から引き揚げた後は実家に戻り、農業の手伝いをしていた。その後、夫もソ連から戻り、5人の子供に恵まれた。昭和29年には佐世保の早岐に移り住み、ミカン山や道路工事関連の会社で働いた。

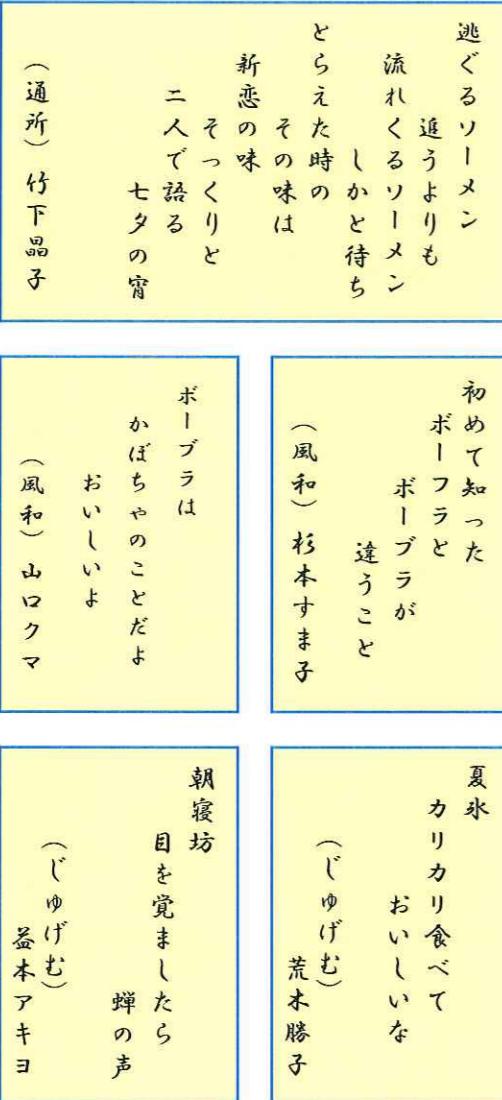
現在元亀の里に入所されているが、「こここの暮らしさは言うことない」「良くしてもらっているし」とのこと。今の目標は「子供達が帰って来いとは言ってくれるとけど、杖で歩けるようになって帰りたい」ようで、毎日リハビリに励まれている。

お誕生日おめでとうございます。

# Vitality Space バイタリティースペース

「Vitality」とは、生命力・活力・活気・元気・持続力等の意味があります。せいひ会を利用される皆さんの中には、このバタリティの力にあふれています。その活動を紹介するコーナーです。

## うたの時間



## 中山郷夏越し祭り



7/27、中山神社境内で行われた夏越し祭り。今年も元亀の里職員による「同期の桜」で参加しました。新人職員を加えたメンバーで、仕事が終わってから集まり、練習を重ねて迎えたこの日。演技後の会場からは大きな拍手が続いていました。

寿限無

## そば打ち



毎年恒例となりつつある、寿限無でのそば打ち実演。利用者の皆さんも、目の前で力強く行われるそば打ちに興味津々。できあがったそばは、せいろに盛り付けられ、てんぷらやいなり寿司と一緒に並べられました。利用者の皆さんとの笑顔も、いつも以上に進んでいたようです。

## 七夕

寿限無

通所



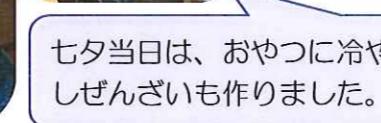
風和の里



ユニットごとに作られた笹飾りに、それぞれの思いが書かれた短冊が、所狭しと並んでいました。



グループホーム



七夕当日は、おやつに冷やしじんざいも作りました。

## 夏野菜のお目見え

GH



中庭で採れた夏野菜で「収穫祭」を開催し、御家族と一緒においしいピザをつくりました。野菜の切れ端はスタンプとして使用し、壁飾りを作成。愛情込めて作った野菜たちは少しも無駄にしません！見て楽しい、食べておいしい作品ができました。



緑のカーテンで活躍したゴーヤをみんなで収穫しました。出来栄えを見て、「来年はこれよりも大きく育てるぞ～！」との意気込みが聞かれていきました。

ケアマネ 敏美 の独り言

〈最近の政府・メディアに思うこと〉



最近、報道では選挙のことばかりで「東北復興」の話題はほとんど出てこない。復興の話どころか「原発再稼働」の動きが堂々と出てきていて「再稼働容認」のような報道が数多くみられる。

(怒)

「東北の復興無くして日本の復興はあり得ない」と思っている私は間違っているのだろうか？原発関係に従事して生計を立てている人間も少なくないし理解している。だからと言って安易に「再稼働」はどうか？原発に代わる発電はいくらでもある。とある学者がシミュレーションを行ったところ、風力・火力等、他の発電で十分まかなえる

との試算も出ている。働く場所を創造することができるのではないか？

「東北の方々、避難をいまだに余儀なくされている方々、故郷を諦めなければならな方々」そして「未来の子供たち」のことを考えると、現在の日本政府の動き、報道の在り方に強い怒りを覚える。

もう一度言いたい。「東北復興無くして日本の復興はない」強く、強く思った今月でした！！

東北の皆さん！！多くの日本国民は、絶対に皆さんの事を忘れていませんから～！！(叫)  
共に頑張っていきましょう～！！！(叫)